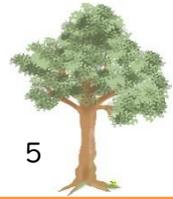




豊小だより

2019. 7. 5



豊小の屋台骨である5・6年生 頑張っています！

前号でもお伝えしたとおり、本校では、子供たちが主体となって、自分たちがなりたい自分・学校づくりを進めていくことが大切だと考えています。子供主体の学校づくりにおいて、屋台骨となるのは、何ととっても高学年5・6年生です。本号では、その5・6年生の頑張っている様子をお伝えします。

6年生 福井市連合音楽会に参加しました

6月20日(木)の午後、福井市文化会館で福井市連合音楽会第2部が開催されました。本校の6年生は会場に集まった13校中最後に、二部合唱「夢を語ろう」(作詞:神詩音、作曲:松長誠)を発表しました。子供たちは、5月連休明けから発表まで約2ヶ月間、音楽の授業はもちろんのこと、休み時間にも集まって練習を重ねました。歌詞のもつ意味、音楽的な表現の仕方等について全員で考え、話し合いながら、合唱を創り上げていきました。この曲には、作曲者の松長氏からのこんなメッセージが付いています(教育芸術社出版「小学生のためのクラス合唱新曲集 歌え地球の子供たち」から抜粋)。

「蕾が膨らむ、そして花開く。花は夢と似ている。『君らしい』夢を！今、飛行機が大空を飛び交っているのも、人類が夢を追い求めた証。夢や目標をもち続けることこそ、人が成長するために必要なことです。『君らしさ』いっばいの夢を見つけるために、今を大切に生きてほしいという思いが、この曲にはこめられています。」

このメッセージを自分の生活や今置かれている状況と重ね、一人一人が伝えたい思いについて真剣に考え、合唱という表現方法で発表しました。20日の音楽会に先立ち、19日には、校内発表会で1～5年生と参観に来られた保護者の皆さんに、また21日には、明倫中学校区の合唱フェスティバルに参加して木田小学校の6年生と明倫中学校の生徒と地域の方にも聞いていただきました。どの発表会の場でも、美しく心に響く歌声を聞く人に届けている6年生の姿に、豊小学校の一員として本当に誇らしい気持ちになりました。参観していた方からも、一様に「豊小の子の歌声はきれいですね」とお褒めの言葉をいただきました。ケーブルテレビ(9ch)にて、連合音楽会の第1部・第2部の再放送があります(7月21日(日)14:00～、22日(月)21:00～、24日(水)14:00～、26日(金)14:00～と21:00～、30日(火)14:00～、8月1日(木)14:00～、3日(土)14:00～)。是非一度ご覧ください。以下は、発表会を終えての子供たちの感想です。



- ・人前で何かをする自信を学ぶことができました。……(中略)……やっぱりぼくは、頑張ってやってきた成果は、タイミングは遅いけれど必ずあるとよく分かりました。
- ・終わった後の拍手で目が覚めたように「ハッ」としたので、私は歌の世界に入れたんだと思いました。
- ・中学3年生の「親知らず子知らず」の合唱は、頭声発声なのにもかかわらず、力強い大きな声が出せていて素敵だなと思いました。明倫中で歌うのがすごく楽しみで仕方ありません。

5年生 一泊二日の宿泊学習に行ってきました

6月13・14日に、5年生の宿泊学習が行われました。1日目には、地図を片手に、一乗谷朝倉遺跡を活動班ごとに巡り、問題に答えるウォークラリー「朝倉探索隊」に挑戦し、夜は福井市少年自然の家にて1泊。翌日は、スプーンの持ち手を木の枝を加工して作るネイチャースプーン作りと野外炊飯でカレーライス作りを行いました。

出発式で校長から「なぜ5年生で宿泊学習をするのか考える」という二日間の宿題をもらった子供たちは、活動班みんなでウォークラリー地図や問題と格闘しながら一乗谷を歩いたり、役割分担しながらおいしいカレーライスを作ったり、生活班で協力してベットメイキングをしたりと、初めての宿泊を伴

う校外学習に一生懸命取り組みました。時間を守ることや友達のことを思いやること等、集団生活で守らないといけないことを自分たちで考え、実行していました。さて、校長からの宿題に子供たちはどんな答えを出してくれたでしょうか。以下、子供たちのふり返りからその言葉を抜粋しました。

- ・ 宿泊学習は、6年生になるための学習だと思います。……（中略）……朝倉探索隊では「仲間を信じる」ということを学びました。山を越えるときはとても疲れたけれど、応援などで乗り切れました。
- ・ 「なぜ5年生で宿泊学習に行くのか」の答えは、「自分たちで考えて行動して自立することを学ぶため」だと思います。
- ・ 5年生で宿泊学習があるわけは、来年最高学年になるから、その前に先生に頼らず、自分たちで考えて行動できるようになるためだと思います。
- ・ 6年生より5年生が1年生から4年生までをまとめることが多く、自分たちで行動していきことができるようにするためだと思います。朝倉探索隊で、協力してゴールを目指していくには、チームワークが大切だと学びました。自分の仕事でみんなを元気にさせたり、その仕事でチームワークを強めたりすることができるのではないかと思います。

学校における縦割り活動では、5年生はまるで「中間管理職」です。6年生のリーダーの指示をしっかり聞き、1年生から4年生がうまくできるか見ながらリーダーを助ける役目があります。ほんの3ヶ月前高学年になったとたん、中学年にはなかった役目を与えられたわけです。宿泊学習では、リーダーになったり、副リーダーになったり、リーダー以外の係になったりします。言ってみれば、6年生の役も、5年生の役も、1～4年生の役もできるのです。それぞれの立場で、相手にどうしてほしいか学ぶよい機会になったのではないかと思います。今年1年間、6年生の背中を間近で見ながら、様々な場面で学び、来年の4月には、6年生から最高学年というバトンを受け継ぐことになります。

5年生、6年生の今後の活躍が楽しみです。



地域の行事や公共機関・施設の催しものに参加しましょう！

明倫中学校区の本校、木田小、明倫中の3校では、「子供たちの学びの質を向上させ、未来に向かってたくましく生きることが出来る力を育成する」を重点テーマとし、①主体的・対話的で深い学びにつながる授業、②地域に根ざした学びを通して、郷土の愛着や夢を育む教育、③子供の理解の充実を図り、課題を抱えた子供の支援、それぞれのあり方について共同研究実践していきます。その中の②の取組として、子供たちの学びが学校だけに閉じることなく、地域行事や公共機関・施設における催し物に参加することで、学びを広げ、子供たちの興味・関心の芽を育てるきっかけとなるよう、学校としても積極的に参加を呼びかけていくことになりました。

豊公民館では、6月22日に親子で参加できる「ふれあいサロン」で巨大作品を作る教室が開かれ、その作品を校内に飾って、参加した子供たちが校内放送で「見てほしい」と呼びかけました。今後7月27日には木工クラフト教室が開かれるとのことです。くすのき児童館でも紙飛行機飛ばしや卓球をして遊ぶ会が開かれます（毎月子供たちに配付している「くすのきじどうかんだより」に掲載されています）。このほか、福井工業大学金井学園体育館で「運動会で活躍するための“かけっこ教室”」、福井市治水記念館（福井市種池）では「びっくり！マイナス200℃の世界」（両者とも参加費無料）等、特に夏休み期間中の土・日曜日には多くの催し物が開催されます。すでに、宇宙分野や科学技術に携わる人材育成を目指す「ゆめ つくる ふくいプロジェクト」の一環として「スペースキッズ」の結団式に本校からも8名の5・6年生が参加して、楽しみながら宇宙への関心を高め活動する機会を得ています。

お父さまがチラシを持ち帰った際には、親子で目を通していただき、積極的に参加をお願いしたいと思います。子供たちの夢を育むためにも、ぜひご協力をよろしくお願いします。